

クリーンアップ推進員会議が、平成二十六年五月九日（金）千歳市民文化センターにおいて、午後六時から開催した。来賓として、千歳市環境センターからセンター長の井上晴雄様と、廃棄物対策課長の大和隆之様、そして、千歳市町内会連合会安全環境部会長の中川勝美様を迎える。（公財）ちとせ環境と緑の財団の五島理事長以下、役員及び職員の計七名と、クリーンアップ推進員七三名が参加した。

会議に先立ち、永年功労者表彰式が行われ、所用で参加できなかつた方を除く、六名の方々に大きな拍手の中、五島理事長から表彰状と副賞が授与された。新任推進員の委嘱状交付は、任期の途中のため十二名の方に受付で、会議前にお渡しした。

会議は、最初に斎藤会長を議長に選出し、事務局から平成二十五年度事業実施結果報告の説明があり、報告済みとなつた。次に議案に移り、議案第一号の平成二十六年度事業計画（案）の提案説明がなされ、全会一致で承認された。続いて、その他として、紙パック奨励金寄附実績を報告した後、意見交換が行われた。

意見交換では、クリーンアップ推進員の名称について及び推進員の業務範囲についての意見があり、出席されていた井上環境センター長から「環境センターには、ごみ処理適正推進員十五名が活動しており、何かあつた時には二名の指導員が対応します、みなさんは安全を第一に考えて直接対応いただきたい」との説明があつた。

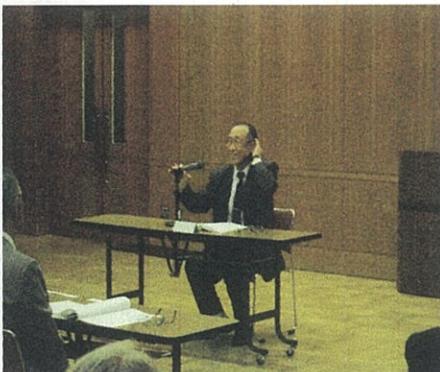
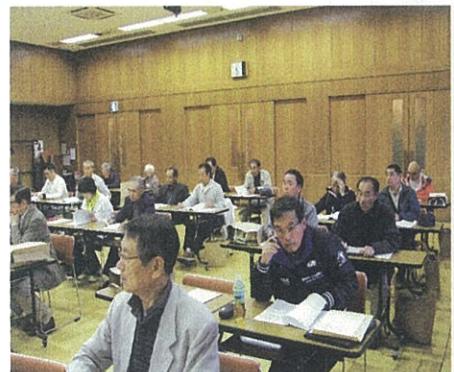
約一時間の会議は、滞りなく進行し、閉会となつた。

CLEAN-UP

発行責任者
（公財）ちとせ環境と緑の財団
理事長 五島 洋子

TEL 0123-26-1213

この推進員便りは
(株)カミノ様の
ご厚意で印刷されています。



平成二十六年度 第一回クリーンアップ推進員研修会

受賞された出席者（右から） 村田公恵さん・
東川一夫さん・佐藤信憲さん・香月正さん・向
出勉さん・長谷川俊雄さん



功労者表彰式実施

平成二十六年度クリーンアップ推進員功労者表彰式が五月九日総合福祉センターにおいて実施されました。受賞者は永年（七年以上）にわたりつて頑張つていただきたいと思います。益々お元気で頑張つていただきたいと思います。

受賞者
千代田町連合町内会 村上 邦子 様
春日町5丁目会 吉田 學 様
桂木3・4丁目町内会 長谷川 俊雄 様
北斗3丁目町内会 向出 勉 様
桜木町内会 香月 正 様
富丘3丁目北町内会 村田 公恵 様
青葉5丁目町内会 佐藤 信憲 様
千歳市消費者協会 向出 勉 様
長谷川 俊雄 様
村田 公恵 様
香月 正 様
長谷川 俊雄 様
向出 勉 様
佐藤 信憲 様
村田 公恵 様

予定時間に、沼ノ端クリーンセンターへ到着し、施設のビデオを見た後に、焼却施設と破碎施設を見学し、施設内一階のリサイクルプラザで、リサイクル化の説明を受け、資源化センターでは、ペットボトル、アルミ缶、スチール缶等の、再資源化の方法や再利用を視察した。

株式会社サニックスエナジーでは、国内で唯一（家庭から出るペットボトルではなく）企業から出る、ペットボトルだけを原料として電気を供給しており、環境に配慮した発電システムについて、ビデオによる説明を受けた。推進員の方々から色々な質問があり、見学途中でも説明担当の職員から、直接話を聞いている場面もあった。

北海道リサイクリング㈱では、ガラスびんを再資源化する、集積→選別→粉碎の工程と施設を見学した。

少し曇つてはいたが、天候に恵まれ三ヶ所の見学場所では、それぞれ内容の濃い研修を受けることができた。推進員の方々は、熱心に見学、質問され、意識の高さが伺われた研修会となつた。

千歳消費者協会の一員としてクリーンアップ推進員になり、あつという間の七年間でした。うれしいことに、五月九日に開催された「平成二十六年度クリーンアップ推進員会議」にて、功劳者表彰をいただき、ありがとうございました。

消費者協会が、平成九年から使用済みの割り箸回収を始めることができたのは、「ちとせ環境とみどりの財団」の前身である「環境保全公社」が、苦小牧王子製紙まで使用済み割り箸を運んでくれることになつたおかげでした。感謝の思いでいっぱいです。この八月現在で、総回収量は八十九トンになり、百トンを目指して頑張っているところです。

ちとせ環境と緑の財団が年二回実施している、クリーンアップ推進員研修会は、いろいろな施設を見学できるので、楽しみに参加しています。六月十九日の研修会では、リサイクルプラザ苦小牧は焼却・破碎施設を、サニックスエナジーでは、プラスチックを燃料として発電する施設を見学し、北海道りサイクリングカレット事業所では、家庭のガラスびんのうち約七十万トンが、資源化されている説明を聞きました。ゴミを出すときは、仕分けをして洗えるものは洗い、きれいにして出したいものです。

その時学んだことの一部を、消費者協会のおたよりに載せました。

ごみを減らす三きり運動

- ① 使いきり：食材は無駄にせず使います。
- ② 食べきり：捨てずに残さず食べきります。
- ③ 水切り：生ごみの八割が水分。捨てる時にはひと絞りします。

一人でも多くの人に知つてもらいます。

クリーンアップ推進員だより
クーリー・アップ・推進員活動の中で感じたこと
村田 公恵

千歳消費者協会の一員としてクリーンアップ推進員になり、あつという間の七年間でした。うれしいことに、五月九日に開催された「平成二十六年度クリーンアップ推進員会議」にて、功劳者表彰をいただき、ありがとうございました。

消費者協会が、平成九年から使用済みの割り箸回収を始めることができたのは、「ちとせ環境とみどりの財団」の前身である「環境保全公社」が、苦小牧王子製紙まで使用済み割り箸を運んでくれることになつたおかげでした。感謝の思いでいっぱいです。この八月現在で、総回収量は八十九トンになり、百トンを目指して頑張っているところです。

ちとせ環境と緑の財団が年二回実施している、クリーンアップ推進員研修会は、いろいろな施設を見学できるので、楽しみに参加しています。六月十九日の研修会では、リサイクルプラザ苦小牧は焼却・破碎施設を、サニックスエナジーでは、プラスチックを燃料として発電する施設を見学し、北海道りサイクリングカレット事業所では、家庭のガラスびんのうち約七十万トンが、資源化されている説明を聞きました。ゴミを出すときは、仕分けをして洗えるものは洗い、きれいにして出したいものです。

その時学んだことの一部を、消費者協会のおたよりに載せました。

ごみを減らす三きり運動

- ① 使いきり：食材は無駄にせず使います。
- ② 食べきり：捨てずに残さず食べきります。
- ③ 水切り：生ごみの八割が水分。捨てる時にはひと絞りします。

千歳消費者協会の一員としてクリーンアップ推進員になり、あつという間の七年間でした。うれしいことに、五月九日に開催された「平成二十六年度クリーンアップ推進員会議」にて、功劳者表彰をいただき、ありがとうございました。

消費者協会が、平成九年から使用済みの割り箸回収を始めることができたのは、「ちとせ環境とみどりの財団」の前身である「環境保全公社」が、苦小牧王子製紙まで使用済み割り箸を運んでくれることになつたおかげでした。感謝の思いでいっぱいです。この八月現在で、総回収量は八十九トンになり、百トンを目指して頑張っているところであります。

ちとせ環境と緑の財団が年二回実施している、クリーンアップ推進員研修会は、いろいろな施設を見学できるので、楽しみに参加しています。六月十九日の研修会では、リサイクルプラザ苦小牧は焼却・破碎施設を、サニックスエナジーでは、プラスチックを燃料として発電する施設を見学し、北海道りサイクリングカレット事業所では、家庭のガラスびんのうち約七十万トンが、資源化されている説明を聞きました。ゴミを出すときは、仕分けをして洗えるものは洗い、きれいにして出したいものです。

その時学んだことの一部を、消費者協会のおたよりに載せました。

ごみを減らす三きり運動

- ① 使いきり：食材は無駄にせず使います。
- ② 食べきり：捨てずに残さず食べきります。
- ③ 水切り：生ごみの八割が水分。捨てる時にはひと絞りします。

千歳消費者協会の一員としてクリーンアップ推進員になり、あつという間の七年間でした。うれしいことに、五月九日に開催された「平成二十六年度クリーンアップ推進員会議」にて、功劳者表彰をいただき、ありがとうございました。

消費者協会が、平成九年から使用済みの割り箸回収を始めることができたのは、「ちとせ環境とみどりの財団」の前身である「環境保全公社」が、苦小牧王子製紙まで使用済み割り箸を運んでくれることになつたおかげでした。感謝の思いでいっぱいです。この八月現在で、総回収量は八十九トンになり、百トンを目指して頑張っているところであります。

ちとせ環境と緑の財団が年二回実施している、クリーンアップ推進員研修会は、いろいろな施設を見学できるので、楽しみに参加しています。六月十九日の研修会では、リサイクルプラザ苦小牧は焼却・破碎施設を、サニックスエナジーでは、プラスチックを燃料として発電する施設を見学し、北海道りサイクリングカレット事業所では、家庭のガラスびんのうち約七十万トンが、資源化されている説明を聞きました。ゴミを出すときは、仕分けをして洗えるものは洗い、きれいにして出したいものです。

その時学んだことの一部を、消費者協会のおたよりに載せました。

ごみを減らす三きり運動

- ① 使いきり：食材は無駄にせず使います。
- ② 食べきり：捨てずに残さず食べきります。
- ③ 水切り：生ごみの八割が水分。捨てる時にはひと絞りします。

千歳消費者協会の一員としてクリーンアップ推進員になり、あつという間の七年間でした。うれしいことに、五月九日に開催された「平成二十六年度クリーンアップ推進員会議」にて、功劳者表彰をいただき、ありがとうございました。

消費者協会が、平成九年から使用済みの割り箸回収を始めることができたのは、「ちとせ環境とみどりの財団」の前身である「環境保全公社」が、苦小牧王子製紙まで使用済み割り箸を運んでくれることになつたおかげでした。感謝の思いでいっぱいです。この八月現在で、総回収量は八十九トンになり、百トンを目指して頑張っているところであります。

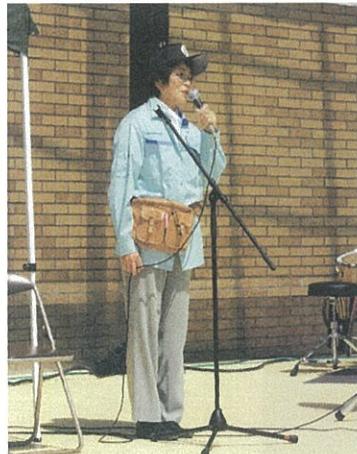
ちとせ環境と緑の財団が年二回実施している、クリーンアップ推進員研修会は、いろいろな施設を見学できるので、楽しみに参加しています。六月十九日の研修会では、リサイクルプラザ苦小牧は焼却・破碎施設を、サニックスエナジーでは、プラスチックを燃料として発電する施設を見学し、北海道りサイクリングカレット事業所では、家庭のガラスびんのうち約七十万トンが、資源化されている説明を聞きました。ゴミを出すときは、仕分けをして洗えるものは洗い、きれいにして出したいものです。

その時学んだことの一部を、消費者協会のおたよりに載せました。

ごみを減らす三きり運動

- ① 使いきり：食材は無駄にせず使います。
- ② 食べきり：捨てずに残さず食べきります。
- ③ 水切り：生ごみの八割が水分。捨てる時にはひと絞りします。

平成26年度 第33回リサイクルフェスティバル開催



平成26年度 第33回リサイクルフェスティバル開催

八時半から車からの荷下ろしや陳列整理、テントの設営などに頑張り、フェスティバルが開催されると、再活用品展示即売、古衣料・小型廃家電回収そして自転車無料抽選会と大活躍だった。

担当者が大いに気をもんだ天気は、猛暑で気温が三十度近くになったが、午後一時からのフェスティバルの目玉である、無料自転車抽選会では、抽選用紙を持つた方々の、ワクワクした顔が見られ、盛況のうちにリサイクルフェスティバルは終了した。

担当者が大いに気をもんだ天気は、猛暑で気温が三十度近くになったが、午後一時からのフェスティバルの目玉である、無料自転車抽選会では、抽選用紙を持つた方々の、ワクワクした顔が見られ、盛況のうちにリサイクルフェスティバルは終了した。

クリーンアップ推進員は、朝八時半から車からの荷下ろしや陳列整理、テントの設営などに頑張り、フェスティバルが開催されると、再活用品展示即売、古衣料・小型廃家電回収そして自転車無料抽選会と大活躍だった。

第三十三回リサイクルフェスティバルは、八月二日（土）「光ちとせ市」との同時開催で、グリーンベルト（幸町四丁目）「おまつり広場」「つどいの広場」において、午前十時から公益財団法人「ちとせ環境と緑の財団五島理事長挨拶のもと、フェスティバルの目的である「資源化によるゴミの減量化」を市民にアピールしようと、クリーンアップ推進員会長以下十二名、そして、ボランティア申入れ団体の支援のもと、多数の千歳市民の参集を得て開催した。



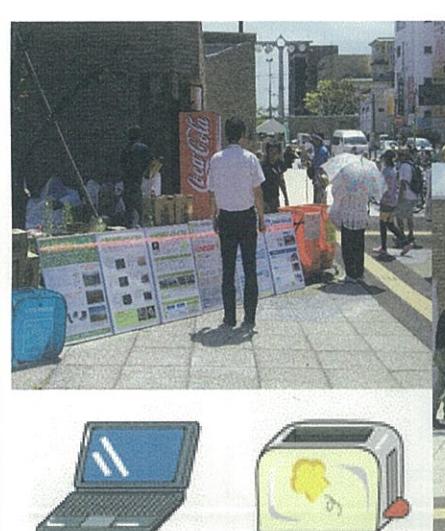
自転車無料抽選会

昨年と同様、自転車は今年も多方面からの協力により40台を完成させることができました。

人気イベントである抽選会は、応募者の行列ができ、申し込み人数は昨年の727名を下回る648人でしたが、一台の自転車に最大63名、最小2名、平均倍率は16倍を超える狭き門となりました。

推進員は、抽選券の整理、自転車の運搬で活躍しました。

暑い中、多くの市民の方々に参加していただき、抽選会は例年通り盛り上がり、無事に終了することができました。



古衣料及び小型廃家電回収

古衣料及び小型廃家電の回収も5年目になり、古衣料は「綿50%以上」から「衣料品全般」への回収枠拡大が周知されてきて、昨年に比べ2倍強の回収量となりました。回収袋を多めに準備していましたが、市民の方々に浸透し定着してきたと肌で感じることができました。

小型廃家電の回収は（株）マテック千歳支店の方々が、暑い中回収から搬出まで実施してくださいました。

※ 古衣料回収量：792 kg

(昨年：374 kg)

※ 小型廃家電回収：96件 273.5 kg

(昨年：102件 460 kg)

再活用品展示即売

市民にも、再活用の意識が根づいた感があり、環境センターに廃棄されるものが年々少くなり、再活用品としてフェスに展示する品物が今年は51点（一昨年90点・昨年55点）と少なくなってきた。市民の方々の物を大事に使う、大切にする気持ちの表れだと感じます。

このことは財団や推進員として、とても喜ばしいことです。展示品が少なくなってくると、ちょっと寂しい気もします・・・。

推進員や（株）カミノ社員の方には暑い中、販売に頑張っていただきました。

皆様のご協力に感謝いたします。



オフィスのプリント環境を考える

RICOH
EPSON

RISO
Canon

Community & Solution
株式会社 力ミノ

本社 千歳市新富3丁目3-24
TEL (0123) 23-4255
FAX (0123) 24-1381

科技大売店・恵庭支店・北広島支店

ECO-FICH
千歳版環境マネジメントシステム認証登録
認証登録番号: 08-011号